

熱中症対策について

山形県中体連サッカー専門部

□会場 山形県総合運動公園サッカー場・第2運動広場・中山中学校サッカー場

近年、県中体連サッカー専門部では、県中総体を開催するにあたり、異常気象(高温、豪雨、雷など)を考慮しながら運営を進めているところであります。それに合わせて JFA の熱中症対策ガイドラインなどを参考にしながら進めておりますが、選手、審判員、チーム関係者の皆さまにご理解いただき、大会運営を行っていきたくと考えております。そこで、以下の点について各チームで徹底をお願いします。

- 試合中にボトルを置いて飲水する指導を大会までの間に各チームで行っておく。
 - ※水だけでなく、スポーツドリンク等を準備する。
 - ※場合によっては、ボトルの中に氷を入れることも可とします。
- 応援の生徒・保護者にも飲水の徹底をする。

○試合の進め方(山形県中体連主催大会)について

パターン A 通常の試合形式(各自で飲水する)

パターン B 飲水タイム(WBGT25°C以上)

○前半と後半の半ば(15分あたり)に1分程度の飲水の時間を設ける。コーチングは不可。

○同点で終了し、延長戦に突入する場合

後半終了後、5分間のインターバルを設け、選手をベンチに戻し、飲水させる。

○同点で終了し、PK 戦に突入する場合……

延長後半終了後、3分間のインターバルを設け、選手をベンチに戻し、飲水させる。

パターン C クーリングブレイク(WBGT28°C以上)

○前半と後半の半ば(15分あたり)にベンチに戻ってから3分程度の休みの時間を設ける。
ベンチ内でコーチング等も可。(あくまでも身体を休め十分に飲料することが目的)

○延長戦および PK 戦に突入する場合は、パターン B と同様とする。

パターン D 危険状態(WBGT31°C以上)

○特別な場合として、この場合は試合前に本部から指示。

<例> 試合時間を遅らせる。 試合を一時中断する。

○パターン C に加え、延長戦前半と後半の間にも、3分間のインターバルを設け、選手をベンチに戻し飲水させる。

※試合時間変更の連絡等は監督会議や、大会本部より各チーム監督にお知らせします。

雷 対策について

山形県中体連サッカー専門部
開催地区中体連サッカー専門部

□会場 山形県総合運動公園サッカー場・第2運動広場・中山中学校サッカー場

雷が鳴った場合

原則、即 試合を中断させます。その後については協議して進めることになります。

選手の健康・体調面を第一に考えた各チームの対応をお願いいたします。

試合中断(主審のホイッスル)



選手はいったんベンチに避難



本部で避難方法および今後の運営を確認



アナウンスで避難の呼びかけ



試合選手 → 総合運動公園体育館ロビー 屋内多目的広場
応援／保護者 → 保護者自家用車 or 待機バスに避難。

↓ 天候が回復(兆しが見込める)した場合

本部で試合再開の時間決定



該当チームに通達 アナウンスおよび緊急連絡先をとおして

<例> 『 〇〇分後に試合再開します。 』



試合再開

その他の事態が起こった場合、上記のメンバー及び関係者で会議を行い、各チームに連絡する。

- ・ 県専門部長 (山口部長)
 - ・ 県専門委員長 (寒河江委員長)
 - ・ 県副専門委員長 (大須賀副委員長)
 - ・ 地区専門部長 (斎藤部長)
 - ・ 県サッカー専門部員
 - ・ 開催地区サッカー専門部員
 - ・ 審判団 (木崎審判委員長)
 - ・ 該当チーム監督 (関係者)
- で協議する。